

2型糖尿病患者における電子血圧計 Pasesa®による脈波指標 AVI,API の臨床的意義

埼玉医科大学総合医療センター 内分泌・糖尿病内科

坂下杏奈, 阿部義美, 森澤智子, 森田智子, 秋山義隆, 和田誠基, 皆川真哉, 矢澤麻佐子,

小池美江, 松田昌文

【目的】産業技術総合研究所の研究により血圧測定時に脈波を解析し血管指標 AVI と API 計測が提唱され Pasesa®(日本メディカルファンド株式会社, 東京)として医療に用いることができるようになった。これらの指標の意義を 2型糖尿病患者において評価するために従来の血管指標である PWV, FMD 測定との関連を検討。【方法】入院 2型糖尿病患者 (n=41, M/F=25/16, 年齢: 61±13, HbA1c: 10±7%) に血管指標計測可能血圧計測定し PWV, FMD 測定結果との相関を検討。【結果】AVI,API は 23±8, 24±8 であった。AVI は年齢, 空腹時血糖, 左右 baPWV と有意に相関。baPWV と AVI($r=0.5, p < 0.01$), API($r=0.3, p < 0.05$) 共に相関したが API は FMD 測定時の stiffness- β ($r=-0.3, p=0.06$) と逆相関傾向があった。

【総括】血圧測定のみで PWV 相当の指標である指標 AVI が糖尿病患者にもおいても有用と思われるが、API 指標については今後の検討が必要と考えられる。